

2012年度 さかなのみうら物資プロジェクト活動記録



2011年5月撮影 南三陸町志津川「さかなのみうら」

- 1 活動理念
- 2 発足のきっかけ
- 3 これまでの活動
- 4 さかなのみうら再開
- 5 現在の活動
- 6 各種メディアに活動を取り上げていただきました

1. 活動理念

「必要な物を 必要な分 必要な方へ」という理念のもと、全国の支援者様、商品のご寄附を下される企業様の想いを代わりに伝えるべく、以下のようなお手紙を添えて活動を続けております。

南三陸町の皆様こんにちは
さかなのみうら物資プロジェクトです

これらの物資は「南三陸町の皆様の未来のために！」と
全国の方々が生活費を切り詰めお金を出して購入して下さる物です
また震災後3年を迎える今でも南三陸町の事を
忘れずに応援して下さい企業様のご厚意で寄せられた物です
そんな全国の方々のご協力のもと
皆様の笑顔のお手伝いのできたらいいなと思い
続けさせていただいております

支援物資をもらうことを当たり前と思わず
ご厚意に対し「ありがとう」という感謝の気持ちに代え
復興という形で全国の方々に少しでも早くお見せしてください
共にふんばってまいりましょう よろしく願い申し上げます

必要なモノを
必要な分
必要な方へ

2. 発足のきっかけ

避難所には、指定避難所とそうでない避難所があります。震災直後、指定避難所には行政等を通し、全国各地、世界中から支援物資が届きました。しかし、取りまとめなければならない役場が流失してしまった南三陸町では、行政がうまく機能していなかった事もあり、支援物資が平等に配布されていなかったり、2次避難所、3次避難所、孤立してしまった集落などには賞味期限の切れた食品しか届かない事もありました。

ふんばろう！
力をあわせて一歩ずつ
南三陸町



震災前の南三陸町

南三陸町で三代続く鮮魚店、「さかなのみうら」社長三浦保志氏は、店舗も自宅も流されてしまいいながらも、「このまま故郷をゴーストタウンにさせてたまるか！」という強い信念のもと、炊き出しを行ったり、支援物資を細部まで届けたりと支援活動をされていました。

三浦氏の他、漁師さんなど被災された地元の方々を中心となり行っていたその活動は、多くのメディアやボランティア団体に取り上げていただき、南三陸町の皆様へと全国各地から支援物資が寄せられるようになりました。

3. これまでの活動

震災直後は、トラックから段ボールを下すと同時に無数の手が伸びてくるほど切迫した状況下での配布活動でした。

そのため、物資倉庫に届いた段ボールの中身を確認する余裕もなく、届いた支援物資を次々とトラックに積み配布する日々が続きました。

震災から3か月が経ち6月になると、支援物資が少しずつまわり始め、ライフラインも段階的に復旧してきます。明かりが灯り、水道が出る地域が増えるようになる事で、被災された方々にもほんの少しずつ落ち着きが見え始めてきます。

仕分けした支援物資は品目別にコンテナに分け、受け取る皆様にも並んで頂いて個数を制限するなどし、寄せられた支援物資をより多くの方々に平等に配布することを心掛けました。

この頃から、配布活動を通し被災された方々と交流する中で、少しずつ笑顔で会話ができるようになってきました。



4月28日、登米市横山の仮設住宅の完成を筆頭に、順次、町内外に仮設住宅が完成し、少しずつ避難所からの引っ越しが始まりました。それに合わせ、避難所と仮設住宅の両方に物資配布を行うようになります。最終的に町内58か所の仮設住宅と、自宅に留まった方々、およそ3000世帯へと配布を行う事になります。

震災から5か月後の8月末日～9月初旬、町内全ての避難所が閉鎖し仮設住宅への移住が完了。夏が終わると、寒くなり日没時間が早くなったのと、半年が経ち就労する方が増え、日中は不在がちの方が多いという理由からこれまでの様なフリーマーケット形式での配布活動が困難になります。そのため配布方法を変更することとしました。

4. さかなのみうら再開

本来、鮮魚店店主である三浦保志氏は、「自店を町で最初に再開させたい！」と決意しながらも、「誰かがやらなければ」と、半年に渡りさかなのみうら物資プロジェクトを率いてきました。しかし鮮魚店再開に向け、支援活動から離れ再オープンの準備に徹することとなります。



2011年9月下旬、かつての従業員と共に「さかなのみうら」再オープンを果たしました。

「それでも海に感謝！」
我が郷土の復興は海の恩恵無くしてはあり得ません。魚屋の主として自然より与えられた責務を全うすべく日々精進してまいります。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

三浦保志

5. 現在の活動

避難所が閉鎖してからは、支援物資を一世帯毎にパッキングし、近況のお伺いも兼ねて一軒一軒へお手紙を添えて直接お届けしております。内容は活動スタート時から変わらず、生活に必要な消耗品や保存の利く食品・調味料が中心です。



未曾有の大震災から2年が経過しました。

町の8割が被災した南三陸町は、復興の加速が望まれる中、応急的にはありますが道路が嵩上げされたり、流失した建物の基礎が撤去され整地の準備がされたりと、ようやく進展が見えるようになりました。しかし生活の面では、58箇所にも点在する仮設住宅に対し、仮設の商店街はたった2箇所しか無く、大型のスーパーへは車で片道40分もかかる不便な状況です。また、沿岸部はひどい所で70センチ近くも沈下したため建築の制限がされ、新たに商店を出そうにも出すことが不可能などと様々な理由から町を離れていく人が後を絶ちません。



震災後の南三陸町

仮設住宅の入居制限は2年から4年に延ばされましたが、高台移転が完了するまでに5年がかかるのではと言われております。復興への希望と不安の中、地元に残り奮闘される方々の一助になればと、三浦氏の想いを引き継いだメンバーで支援活動を続けております。

一戸一戸への物資支援と並行して、ライブ支援や炊き出しを通じたコミュニティ形成・理容美容・健康管理などの支援も行っております。



6. 各種メディアに活動を取り上げていただきました

- 2011/05/23OA 仙台放送 FNN スーパーニュース
<http://www.youtube.com/watch?v=MiuUDaSuptT8>
- 2011/06/16 OA フジテレビ FNN スピーク
http://www.youtube.com/watch?v=YEtl12BaQ_w
- 2011/06 OA NHK 仙台
<http://www.youtube.com/watch?v=LagYYGY55VU>
- さかなのみうら 復興へのジレンマ テレビ東京 週刊新書
<http://www.youtube.com/watch?v=ivm54KiMSmg>
- 河北新報ネット
<http://tohokutact.blog.fc2.com/blog-entry-12.html>
http://www.kahoku.co.jp/spe/spe_sys1070/20110501_01.htm
- チャリ TV
<http://www.youtube.com/watch?v=S8aRAz1K1w&feature=youtu.be>
<http://www.youtube.com/watch?v=0RTaQMjNZhk&NR=1>
- 2013/01/04 , 01/11OA 東北発☆未来塾 Eテレ

さかなのみうら物資プロジェクト



お問い合わせ

〒986-0725
宮城県本吉郡南三陸町志津川沼田 150-40
090-3923-2004 (嶋津)